べき姿を語っていただく。 る問題点、そして今後、 東京大学の前期二年間の学部教育を担う駒場キャンパス、 過去二〇年間の変化を振り返りながら、 大学院重点化のなかで教養学部のある 教養学部の抱え 教 養



した。 うことで、 二〇年の移り変わ 佐藤 本日は東京大学の前期教育を担って る教養学部、 三人の先生にお集まりいただきま 5)変わりを話していただこうといが、すなわち駒場キャンパスのこのは東京大学の前期教育を担ってい

る世代。 うな音楽を聞き、男子も女子も美容院に足し 日本の新たなイメージ商品のなかに取り込ま 惹かれていた一八、 らにこの一〇年、 Ţ れた学生たちが増えはじめました。 げく通い、そういう意味ではある程度洗練さ もそうでしたが、 ものに憧れている世代。 に旧制高校の伝統を引いて文学や思想とい ょうど二つの世代のあいだにいました。 私自身は七〇年代初頭に駒場の学生で、 時代が進むと後者がグッと増えます。さ代。それは七〇年代に入ってからの現象 洋楽よりもJ 欧米のポップカルチャ ポップカルチャ 九歳の人たちが、今度は もう一方に、 一にひかれ われるよ う

ち

樺 山 何か学生が別の能力を、あるいは可能性を身 命に点を取るという意味での学力は、点数化 非常にコントロールのきついところで一生懸 になった。学生のほうでもが、時代の流れに応じて、 ゆる近代的なきっちりした学問よりも、「脇」 につけているように思えます。 象を扱うような教官が増え、学問のスタイ を見るというか、 してみると落ちている。 駒場の教官については、 以前の大学の教室では話題にならなか 学生のほうでも、 以前には扱われなかった対 しかしそのかわりに よりフレキシブル ここ二〇年、 かつてのように

がはっきりわかってきましたよね。 特の感性、 った事柄も学生の関心を引き得るし、 ことは大変よいことだと思っていますが、 ト化がいろんな形で実現したわけです。 れる言い方をすると、知のエンターテイメン 能力を持って いる人間がい よく言わ ること また独 その

> 私たち本郷の教官もその対策を考えなければ 二年間が終わったという学生がかなりいて るか、 師ともにかなり当惑しています。 駒場で発見したエンターテイメントのおもしの学生の多くが本郷に進学してくるときに、 もあくまでも入口であって、それを学問にす ーテイメントは入口としてはおもしろい。 ろさをどう引き継いだらいい いけないなと思っています。 どうしたらい **らうしたらいいかわからないまま本郷のあるいは社会的能力の養成につなげる** かで、 知のエンタ 学 生、

岡本 実は真ん中には誰もいない。 が真ん中であろうと仮定して考えますが、 ○年の学生の気質の変化ということでしょう ない学生は何もしない。 の印象では、 らず平均レベルにター を持たない。 において二極化が進んだように見えることで われわれが教育を考えるときに、相変わ 興味を持たない学生は何に対しても興味 興味を持つ学生は色々なものに興味を持 私が問題だと思っているのは、すべて 学生は二極化してしまっていて 勉強する学生はとことんし、 ゲットを置き、 これもやはりここニ この辺

樺 山 えているのか。そこから来るデメリットをど すが、それが学生にどういうインパクトを与 した。 したが、 少数の例外を除いてすべて教養部を廃止し 場を二年やって本郷を二年やる。 離れた二つの単位があり、 東大には駒場と本郷という地理的にも一時間 う救済するのかということも含めて、 のうち本当にわずかしかない。 タイルを取ってい もあります とりわけ そのことの功罪はいろいろあるはず それから、 東大の二つの単位はそのまま残り われわれ ね つまり、 )まり、ほかの大学と違って東京大学独自の制度のこと るところは日本の国立大学 大多数の学生は 国立大学は、 こういうス の問題で これは



### 教養学部における語学教育に関するアンケート

大学総合教育研究センター1998年調査より

「英語」」と「英語川」、とそれ以外の外国語、選択科目として「国際コミ ュニケーション」がありますが、それぞれどの程度身につきましたか。



「英語」」は身につきましたか。



その他の外国語は身につきましたか。



よく身についた ある程度身についた 身につかなかった





岡本 積み上げの部分らの情報も充実してい うことに意識が行きがちで、 いかに "頭よく " います 立ちふる その点、 まうかとい 先輩か

う出ているかはちょっと見えにく

別の言い方をすると、多彩な森の中で

た頃と比べると、

すごくうらやま

状況に

ています。

それが、

結果としてど

機器関連の授業も揃っていて、

私が学生だっ

科目のほか研究の方法や論文の書き方、

部分が必修から外れて総合科いという部分があります。そ デカルトがわかっていない カルトから入ってもいい、サルトルからでフランスについて勉強しようとするとき、 自由選択の出来る総合科目のシステムが問題 はそういう問題が出 はいくらでも起きる。 になる場合があります。 学部で先生も学生も真っ青 積み上げの部分が多い理系にとって、 いろんな入口があるのに、 自由を増や 例えばフランス語や そうす 人は何もわからな へ回ったため 理系では、 ということ ると、 からでも デ

> うことについて、全学的に努力が足りないが問題なのかもしれない。情報を与えると ではないでしょうか。 情報をわれわれがちゃ ただ、カリキュラム改革の問題というより たとえば、 んと流していないこと 学部の

 $\mathcal{O}$ 

ていないと駄目ですよめには、駒場のこうい ると私は思っています。い。 この問題には全学的に取り組む必要がイダンスで学生に十分には伝わって Щ この問題には全学的に取り組む必要があ 学科でちゃ 駒場のこういう授業を聞いて理解 んと単位を取って卒業するた よ、というような情報が、

離があるというこのシステムは、 も含め 教養学部をほかの大学の しかも間に物理的に一 情報整備と情報公開抜きでは アフター 時間の距

樺

分の認識に整理できず、

が入るので、

その結果迷子になって

しまう。

を見て歩いて、

どこでキノコを拾ってとい

ふうに考えられますが、

地図を持たない

人間

る人間が森のなかに入れば、どの木とどの迷子になっている。初めから地図を持って

分の認識に整理できず、気がついたら外に出木は何本か見たけれども実はそれをみんな自

英語以外の外国語についての意欲や達成度が 初修外国語というのがありますが、 たちのかなりの共通認識です。け読解力は徐々に落ちていると 進学 るという気が るとい うのが、 そうい

のかなと思います。 変わってきたからだとは思い あって、 礎的な学力が十分に養成されてい ところにやはりまだ手を入れ直す されたからということではおそらくないので 解を前提にしますが、そこから見ますと、 思想、歴史系などは、 かなり疑わ 世の中の大きな動きと連動する問題で 学生自体の力の投入の仕方の様式が いる文科系の学問、 それはこうい いずれも言葉の読 ますが、 余地がある るかと言う う改革 そこの

とえば理系では、学生にやる気がないとれはいいと決まっているわけです。一方いるし、先生もおもしろいと言っているとえば英語Iは、学生はおもしろいと言

వ్త

でしょうか。まず、いろいろ工夫をした。たルにはこの改革は評価されているのではない

学生はおもしろいと言って

L١

ないなどといった議論が出てい

ます

問題点は色々あるけれどもト

夕

勉強してこなければいけないことを勉強してが、そういう場でも、たとえば、本来駒場で

育について色々話し合いをしているのでまくいくことはない。私たちは今、全学で

られます。それから、必修を減らした分、満遍なく実践的なスキルと読解力を身につスというのを作りましたから、そこの学生 一方で、 工 藤 すが、 位数を減らしたということがあります。 うやって対抗していくのかが大きな問題です に学生は押し流されがちです。 葉を掲げていて、 とを私自身も観 一つには今度の改革のなかで、 日本の社会全体が「ニー 確かに読解能力が落ちてい 初修外国語ではインテンシヴ・コ 察して 実践的なスキルとい ます。 ズ そこの学生は その力学にど るというこ 必修の単 う課題 いう言 そ

います。 的な事例で、非常にいいインパクトを残して のな事例で、非常にいいインパクトを残して を がな事例でなくても、教官がある程度の力を投

<sup>ℙ</sup> The Universe of English<sub>┛</sub>

のシリ

ズなど、

ね。

佐藤さんやそのほかの方々がお作 ちも大変敬意を持って感服しています。

りになっ

特に

も継続的に取り組んでおいでになって、樺山 駒場の授業改革はかなり広範で、

うだけのことではないのですが

に来るようになっ

もっとも、

これはさら

回も触っ

たことがない

ايا

う学生が医学部

生き物に

とか、

に大きな問題で、

駒場の二年間がどうこう

佐藤

生物を一回も勉強したことがない、

ですが、文学部といじがありますのは、

文学部というごく限られた範囲内で

ションという枠で、

たとえば駒場の英語教育

る学生の 語学力 駒場に とり 私

岡本和夫(おかもと・かずお) 大学院数理科学研究科長

点化が実現しま改革が行われ、

しました。

教官は全員大学院に所

駒場では九三年に大幅なカリキュラ

これとほぼ同時に、

大学院重

岡本

もちろん一〇〇パ

言うと、

生に下りていって授業をするとい

う形態に変

そこから一、

二年生あるい

四年

たわけですが

を考えようという授業に、ただ、新しい外国語をは うするのかとい まず単語を知らない くなります。 る自由選択の授業を くれるかです。 樺山紘一(かばやま・こういち) 大学院人文社会系研究科教授

樺山 て聞く。 に多い。 う問題に、 かというような話を、 育できるのか。 学生に差はありません。 二三カ国語の外国語の授業が展開されて た思考法で世界を見るとどうなるのか、 つの単語にどのような文化的な意味がある ムとしての語学教育があると思うのです。 人数にして三人に二人。 とにかく触れてみたいという学生は非常 英語とはまったく違った発想、 第三外国語まで履修する学生はの それなりの興味を持ってい では、

の

ズムと、 響を受けてきた学生は、 国際化を英語化と取り違えているジャ にどんな意味が しまい んと世界史をやっていない学生も多い。 近づくべき素材に非常に距離感を持っ 英語さえ通じればという親たちの影 英語とちがって、初修外国語で+かというレベルで新たな構想を練 したがって今は、 これは社会的な問題ですが、 自由選択ですから強制力は無 あるのかと考えがちです。 [語を使っ わけだし、 使えない初修外国語 いったい 初修外国語では、 基本教材をど 高校までにち 本気で何

から、

駒場で二三カ国語学習できるというの そういうこととは別に、 私は思考の方法を学ぶシステ 東大の学生は面白がっ 理系の学生と文系の 彼らをどう教 駒場では今 違っ

樺山

その先はわかりませんよ。

工 藤

展開 ます。

工藤庸子(くどう・ようこ) 大学院総合文化研究科教授

ました。その後、その下だったと思います。私の学 が整備されているということは、 チしてみたいという学生に対して、 語ですとかアラビア語ですとか がなかったと思うんです。 っています。 かもしれないけど、 あれがなかったら勉強する機会 その七つをいまでも全部使 の学生時代はたぶ ともかく一度アプロー 私はそこで七つ だから、

0

身につかな

ペルシャ

その制度

業時のアンケーれば、やはり使 たないという数字が出て 外国語でさえそれぞれの言葉を専門にしなけ 国語に限らず、 先でペ す。「一生もの」と考えてもらいたいですね。 山先生でもないかぎり、 に役に立ったかと問われると困る点です。 ては大きな努力を払っているのだと思い 初修外国語の教育が大変なのは、 やはり使わないですよね。 、ルシャ 語なんか使ってはい 教育は長期投資です。 トでは、 、初修外国語は役に立てすよね。ですからな 普通の学生は、 しまう。 大学側と ない 必修の 進学 すぐ 卒 外

数の言葉を学んで、 くことの大切さが、 その先、 ?で、世界の多樣性を知って.やはり世界に出たときに、: きっとわっ かってもらえる 九三年 お複

いうような分ナヮ\*\*・、社会、自然とのカリキュラム改革でこちらも大きく様変わのカリキュラム改革でこちらも大きく様変わ佐藤 外国語以外に目を向けますと、九三年 لے わ

は私たちの責務でしょうね。 ちませんよね。 それぐらい のエネルギー 投入

院を重点化した最初の岡本(東大が抱えてい するのか。 学です。 点化」をやらないといけない 部教育について最も特徴のある大学にもなっ たということです。日本で他に類型がない 2。これから教育を重視した「学部重この大きな矛盾を私たちはどう解決 の大学でも いる最大の 大

ということですね それには私たちに相当な覚悟が必要だ

七月一八日)

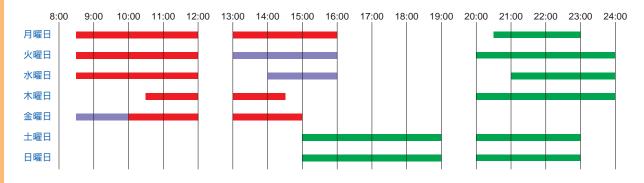
√る大きで、学である一方で、学

(二〇〇〇年

佐藤良明(さとう・よしあき) 大学院総合文化研究科教授

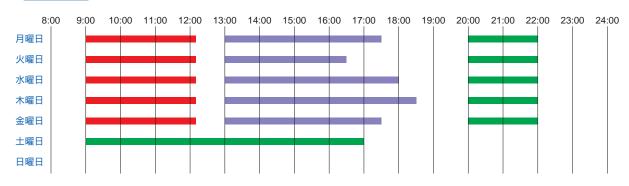
### 丁学部 (3年生女子)

平日はほぼ毎日1限~4限まで授業。夜はたいてい次の日の課題をやらなければならないので、あまり自分の時間はない。 土曜日は比較的ひま。余暇は犬の散歩や買い物など。日曜日もゆっくりしたいところだが、たいてい、やり残している 課題に追われる。



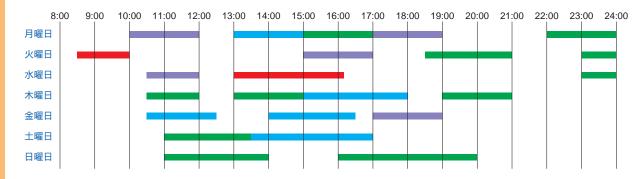
医学部 6年制4年生

月:衛生学実習はいくつかのグループに分かれて行われており、グループごとにスケジュールが違う。 水木:病理学 実習のスケッチに6時すぎまでかかる。 土:医学図書館で一日勉強、医学図書館は日曜も開けてほしい。



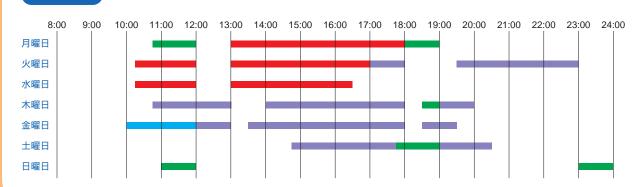
### 人文社会系 修士1年<u>生</u>

日々の予習で手一杯。外国史専攻なので、語学の修得のために院生同士で勉強会を開いている。授業は刺激を受けるこ とが多くて楽しい。



### 新領域 修士1年生

月:午後は授業の日。 火:実験が終わる前に終電の時間が来る。 水:研究室で飲み会。下っ端なので夕方から準備。 日:月曜日の授業の課題を少しやる。「この週は火/水が集中講義の週でした」



## 教お

実習、演習、実験

思いを馳せ

眺め

みて

さい

れから学生になる人は自らの将来に 学の学生は自らの生活と比べて、

自主ゼミ

ない」でしょうか。社んなにまじめに勉強し

社

会人は自らが

しているはずが

間が少なすぎる」 な印象をお持ちで

ゕੑ

それとも「こ

しょうか。「

勉強時

の

学生であった時を思

出して、

他大

白習

サークル

の学生にインタビュー 特集に際して、

を試み、

ア

トやデー

トなど学生のプライヴ

クルという「学生の本分」な生活には立ち入らず、幼

いるはずです。 活の中でかなりのウェ

学生たちはどのく

いる

ので

しょ

今回

の

編集委員会は何人か

勉学

はたしてどのくらい〝固性り〞こ・受験から解放された学生たちは、ケ海外の学生と比べて、日本の大学:

日本の大学生は勉強し

な

いと言わ

61 る

いれて

して学べる大学で、

に勉強.

U て

しし

る

の で

ょ

う?

自分の好奇心と感性を

文科2類 (1年生男子)

講義

火:1週間の中で一番気を抜いている日。大学さぼって何か見に行くとしたらこの日。 水木:段々朝が眠くなってく る。ヘビーな科目が多く気合い必要。 金:ここを乗り切れば、ということで意外に元気。ただし最後の講義まで出る ことほとんどなし。 週末:大体がバンドの練習。歌って、しゃべって、みんなでご飯食べて......。

限っ

その生活ぶりを公開

らい

ました。

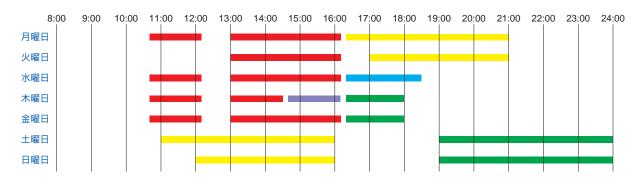
ここでご覧に入

れる して

9。これを見て皆さん彼らが言う「典型的

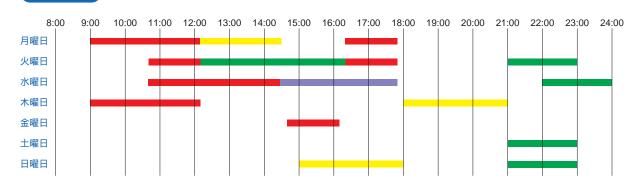
典型的な一

週間



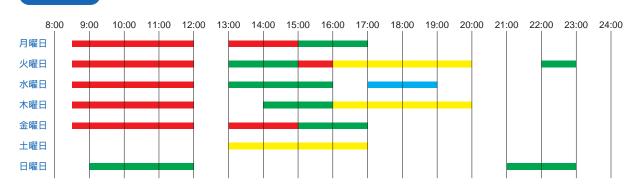
### 理科2類 ( 1年生女子 )

火:昨日のカテキョ(家庭教師)でちょっと疲れ気味。 水:実験だー! そのあとカテキョか。がんばろ。 木:今日は 手話だ。先週やったの、何だっけ......? 土:休みだ。でも、朝はいつもどおりに目が覚めるんだよね。どうせ起きて るんなら何かしよう。自転車にでも乗ってどっかいこうかな? 日:疲れはとれた、かな?



### 法学部 3年生男子

月:一日3コマあるとつらい。 火:サークルで運動するのが楽しみ。 水:家に帰るのが午後8時過ぎ、腹が減る。 金:つらい一週間が終わって解放感。 土:勉強しない日。



13 · TANSEI

んな日常生活を送っているのや性別も様々な学生たちは、

るのでしょ

性別も様々な学生たちは、一体ど東京大学で学ぶ二万人以上の年齢

ことは確かですが、

であるからには、

勉学がその

-を占めて

)は確かですが、少なくとも「学学生の数だけの日常生活がある

時 教師の教えようという意気込みと学生の学ぼうという意欲が出会っ で数多く見られるそのような、幸せな邂逅」のほんの一部です。 そこに、魅力ある授業」が生まれる。ここでご紹介するのは、 た

授業は確かに存在します。 の魅力の一端が伝わってくるはずです。 探りました。彼らの報告からそれぞれの授業 な「魅力ある授業」の推薦を受け、 まず各学部・研究科の広報委員からこのよう 人によって魅力を感じる部分は様々だからで 魅力ある授業」の定義は簡単ではありませ それでも、 マ、教師、環境や施設、友人、等々、 多くの人が魅力的だと感じる 今回の企画では、 その授業





(たけうち・さわこ)

竹内佐和子助教授

副所長、日本の民間シンクタンクの主席研究佐和子先生は、フランスのビジネススクール一つ、「建設マネジメント特論E」担当の竹内 員という経歴をお持ちです。 授業は、すべて英語で行われています。 六月の梅雨の晴れ間に竹内先生の授業にお |業は、すべて英語で行われています。その大学院工学系研究科社会基盤工学コースの

題だったので、 議会で議論された「横断型の事後チェックシ 邪魔してみると.. ステム」というキーワー その日の午前中に出席された政府の審5てみると.....授業の冒頭、先生はいき ちょうどこの日のテーマにあった話 学生もすぐにのみこめたよう ドを、 学生にぶつけ

すべきものと思うが、社会で今、起こってい(橋渡し)を話してくれる∫土木は社会に根ざ

街づくりといったところに焦点があてられ生担当の講義は、地域開発、インフラ産業 域づくり」を目指しています。 きた社会のニー ズに応じたインフラ開発と地 - ズの解釈なども含まれ、 「建設マネジメント」といっても、 そこには国際問題、都市経営、 いってみれば、「生 インフラ産業、 住民のニ 竹内先

籍を問わずよく学生に伝わっているようで

用語がわからず、

もちろん、

日本人の学生の中には、

専門

時々おいてきぼりになると

すい」など、

先生のキャリアとお人柄が、

玉

外での経験を生かして話してくれる」フレン

な雰囲気があるので、

何でも質問しや

れて説明してくれるので、

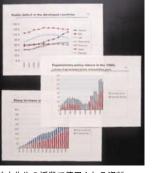
わかりやすい」海

ることを教えてもらえる」具体的な事例を

バニアなどヨーロッパから、そして南アメスリランカなどアジアから、イタリア、ア 日本人学生です。 のうち、およそ半分が外国人留学生、半分が カからもと国際色豊かです。 英語による授業とあって、 インドネシア、ミャンマー 大学院生四〇

学生に竹内先生の授業の魅力を尋ねてみる





竹内先生の授業で使用される資料

竹内先生の著書

そんな印象をうけた授業でした。 ズに追いつくために新風を吹き込んでい

る

# 教養学部

(大学院人文社会系研究科学生



英語

っていました。 での議論がどういうものかを学び、 白状する人もいましたが。 に浸透していく成果がみられると、 それでも先生は、日本人にとっても、

おっ 英語が身

らとりくもうとする学生の姿勢がみられ、教が、竹内先生の目には、新しい問題に自分か える側としても授業をエンジョイできるそう たっているように、 最近の東大生はと、 土木や建築が社会のニーズの上になり 大学にも、 とかく言われがちです

> 大学院総合文化研究科 長谷川壽一教授(はせがわ・としかず)

体どんな授業なのか、 問題を黒板で解くようなものかと想像してい かけてみた。「演習」というからには、 もつかない。 業に「基礎演習」 東京大学に入ったばかりの一年生対象の授 その実態を探るべく、 と呼ばれるものがある。 タイ ルだけでは見当 駒場に 物理の 出

# 大学院工学系研究科 設マネジ

いた。「ミニ学会」とでも言えばよいだろうか。たが、授業の実態は予想とは大いに異なって その題材について調べた結果を報告する。 い∫ 芸能 - 大衆文化√アジアの文化と社会√ という四つの大きなテー 民族紛争とジェノサイド」、異文化との出会 学生はこの中のどれか一つを選び、その マに沿って各自が興味ある題材を定め 授業の実態は予想とは大いに異なって マが最初に与えられ

調査し、

がこれからの学生生活で必要となる問題探究さながら学会や卒論発表を思わせる。一年生

その結果を発表するという形式は、 自らの興味に則してテーマを定めて

「陶磁器について」という三つの報告が行われ学』、NHKの光と影 - 影は知られているか」 和らぐ質問もある。 お勧めの陶磁器は」 質問が次々と続く。 疑応答の時間である。 業の意図をうかがったところ、通常 しながらの一五分程度の発表が終わると、質 大テーマの下で、「二人のヴィー 私がお邪魔した回は、「芸能 - 大衆文化」の 必ず使うことになっているOHPを駆使 一方通行の授業」とは違う形で、 長谷川教授に授 などという場が でも、 厳しい、 中には「あなたの 核心をつい ナスの図像 た

٥ に伝える能力を養うところにあると 自ら問題意識を発掘し、それを他人

大学院新領域創成科学研究科

長谷川先生も執筆 された、授業で使



法 知 0 技

情報学 大学院新領域創成科学研究科 原田昇教授

析します。 phone System)といった物体の位置を知るた Positioning System)&PHS(Personal Handy か。この授業の目的は、現代社会が抱えるこ的に行うためのシステムとはどのようなもの めの先進的な技術が紹介され、 にあります。 礎的技術を身に付け、 のような重要問題を解決するために必要な基 実際の授業では、GPS( Global その応用を考えること タとして収集・分 学生はこれを

(はらた・のぼる)

自動車移動軌跡データ収集実験風景

ション能力の向上



学生自身の一週間の行動調査により得られ

たデータを分析用GISソフト上に表示した例

方法は、自分自身の体験に基づいて明確に理設定へとつながってゆきます。調査や分析の各人が抱いた問題意識が、次の新たな課題の せんね。 課題の内容も、 解していますから、 実際に新技術を使ってまとめられ、 分がこの一週間どこをどのように移動した の生活について調査するということです。面白いのは、まずはじめに学生自身が自 ブしながら行うこと、 居住地区における渋滞に関する調査をド 観光地の散策マップを作成すること、 で歩き回ってデジタル技術を利用した東京の 報告されるわけです それぞれの場所でどんな行動をしたかが こうして自らの行動を分析する中で \_ 그 구 次に学生たちが設定する から、 などなど。 クで実際的です。 悪いことはできま 皆の前で 自分の 自分 ライ

中で、 議論されています。 が今後社会にどのような展開をもたらすか システム、技術など、 生が相半ばしています。学融合を目指して新を専攻する学生と空間情報科学を専攻する学 いう | 一世紀の重要課題が、 つ学生が集まっています。 しく生まれた大学院研究科だけあって、 現在の受講者は約一〇名。社会文化環境学 日々進化しつづける高度情報通信技術 様々な方面に関心を持 和やかな雰囲気の 多面的に真剣 文化、

の交通計画はいかにあるべきか、

環境に配慮しながらも無駄を省い

移動を効果

### 薬学部

### 薬理学Ⅱ 自動車移動軌跡データ収集実験により得ら れたGPSデータをGIS上に表示したもの

(大学院総合文化研究科学生

だろう。「教わる授業」ではなく、教える授業

です」と言う。質疑応答の活発さがその証明

発表するときは緊張するけれど、面白い授業

のために適した授業形式である。 能力の開発やプレゼンテー

ある学生は

ひと味違う授業の楽しさを満喫した。



を学ぶのに対して、「薬理学=」では脳をはじ目です。「薬理学!」は末梢器官に関わる部分 めとする中枢器官に関係のある薬学を学びま それぞれ二、三人の先生方が分担され、 は、薬学部三年前期の必修科 大学院薬学系研究科 松木則夫教授 (まつき・のりお)

「薬理学Ⅱ」

では「パーキンソン病は、主に中高年で発症駄話」ではありません。例えば、今回の授業 られるのですが、雑談とはいっても決して明をなさっていました。ときおり雑談を交 寧な板書をされつつ、適度に早い うテーマで講義が行われました。松木先生は、 講義形式で授業がすすめられてい 大学の授業としては珍しいと思えるほどに丁 この日は、「パ キンソン病の治療薬」とい てこの ときおり雑談を交え テンポで説

ます。

授業のよい流れが生み出されているように思 介されていました。 このような、 傷によって発症したモハメド かある病因のひとつとして、ボクシングの外 フォックスの名を挙げておられたり、 合もある」例として、「バック る若干「柔らかめの話」が加えられることで、 ・チャ に主演した俳優マイケル・J 内容に関わ の例を紹 いくつ ザ

ておられる点について質問したところ、三年 た。「薬理学=」を講義するにあたり、 いきなり実戦的な難し 松木先生にお話を伺 心がけ いまし

> 知識は、 分自身で考察、 もらえるよう、なるべく解りやすく説明しよ 容で始めるのではなく、 薬学に興味をもっ

い∫説明が系統立っていて、理解しやすい」。 いるのだから、常識的な知識だけではなく自 うと心がけている」とのお答えが返ってきま 学生の感想は、「板書が丁寧でわかりやす一部に交えている」ということだそうです。 これは、言い方を変えると、「東大生は、 適度に余談が入っていて面白い」との 独学で身に付ける能力をみな持って参考書等に載っているような基本的 検討してみる部分を、講義の

> の特徴 = 松木先生の意図をうまく表 た意見は、まさにこの「薬理学Ⅱ. 視点を持ってい 合的にからめて供給できる、幅広いて色々な分野からのトピックスを総 だけにとらわれずに、 先生の魅力として、「 るところ」 一つの専門分野 それに関連し と表現し

業に取り組んでいる、 の一体感を感じられた授業でした。 しているのではないでしょうか。 教授も学生も、 非常に前向きに授 そんなある種



パーキンソン病、中脳のLevy小体(左)

TANSEI · 16

パーキンソン病に関連する脳部位(下)

### 生が対象なので、

感想も、

かなり多数を占めていました。

(東洋文化研究所事務補佐員

西園寺彩子)

文学部

# 美術史学演習 一絵画

更



画と呼ばれる独特の美術のジャンルが発展しい範囲に拡がるイスラーム世界では、写本絵さは際だっています。 アジアやアフリカの広 史の本格的な授業は、この桝屋先生のものだ が国の大学で開講されているイスラー こで博士号を取得されました。 生はニューヨーク大学の大学院に出かけ、 専門家がいなかったそうです。 た頃、日本の大学にはイスラーこの授業を担当する桝屋友子先 それだけでも、 にはイスラーム美術史のる桝屋友子先生が学生だ この授業のユニー 現在でも、 このため、 東洋文化研究所 桝屋友子助教授 ム美術

> 活躍した大詩人ニザ お邪魔したのは、 一二、三世紀にペルシアで ==

告し、つづれについて スライドで紹介し、説明をくわえます。 加するゼミは、教室の前に白いスクリー 学部生・大学院生あわせて一五名ほどが

クロウの会話」、水浴する王女をかいま見る される絵画の分析が大変興味深い。「二羽のフくわえて先生がスライドを使って具体的に示 のようにくり返し取り上げられる同一モ

けです。

ムサ」とは「五部作」という意味で、ニザう作品の写本絵画をあつかった日でした。「 すが、その写本にはしばしば美しい挿絵が挿 入されたとのこと。 の五つの傑作詩編をまとめた人気作品で の「ハムサ」 とり

じまりました。「ハムサ」の五つの詩編それぞ 後ろに二台のスライド映写機が用意されては つづけてその写本の挿絵を桝屋先生がいて、まず学生が内容や背景などを報 ンが、

我

そ先

各詩編の内容自体もおもしろいのですが、

も分かるようにゆっくりと、

(大学院人文社会系研究科学生 物をみる思いで楽しんでしまいまし、但ばれますが、一観衆としては、一 うに駆使されながら話される先生のご苦労が 一幅の絵巻



身体教育学



身体を考える教育学部の人気授業があるとい う情報を入手した。 聞けば今回の授業のテー 子供から高齢者までの身近な話題 の 中か

大学院教育学研究科

(むとう・よしてる)

武藤芳照教授

ク

それがゼミの中心テーマです。

学生たちがこのテーマにどのような反応を示 体験するとのこと。二〇歳を過ぎたばものを装着して身体が自由に動かない マは「寝たきり老人」と「老人の転倒・骨折」 のだろうか。 さらに授業の中で「高齢者セット」 二○歳を過ぎたばかりの 状態を なる

のために用意されている資料は一つひとつ武 の反応に興味が沸く。 を言いますから」 の意見です 藤教授自身が時間をかけて選定したものだそ ど講義で配布する資料を作成中。 講義前日の武藤教授室を訪れる しか よ。 彼らは時に非常に面白いこと 一番重要なのは授業中の学生 と武藤教授。 ますます学生 今回の授業 Ę ちょ

築学科の学生が受講することもあるそうだ。築ができないから、という理由で工学部の特 め これは東大のような総合大学ならではのメリ には人間の身体のしくみがわからなければ建 大学院学生や他学部の学生の顔も交じる。 どの学生が授業に出席。学部の授業であるた 当日は朝早い授業にもかか トだろう。 多くの受講生が教育学部の三年生だが、 という理由で工学部の建 わらず、 ほとん

中

緒美さんの二人の学生が発表を行っ 生である吉愛欄さんと大学院学生の小久保奈まず今回のテーマについて韓国からの研究

「酒」がテーマの時には飲酒をしたとき 保さんは老人の転倒について他の学生計を用いてわかりやすく解説し、小久 谷の喫茶店でアンケー されているが、 の意見や実演を交じえながらの説明を の体温の変化を寮で計測したり、 吉さんは日本の高齢化について統 発表方法は発表者の裁量に任 た際にはこの発表のために渋 過去に「たばこ」 トを行ったり、 をテ

· 高齢者セット」を装着



たその解説は、学生たちを飽きさせない。まで、かつ教授自身の豊富な経験に裏付けされが学生の発表の後に行う補足・解説。理論的たらしい。この授業の魅力の一つは武藤教授 のたで、気 くことによって新しい知見を得ることができ場を常に与えられ、かつ他の学生の意見を聞 るのである。 解説は学生に当てながら進められていく 学生たちは自分たちの意見を発表する

う

齢者セッ りやすく、また視野が狭まったり、色の識別は身体が思うように動かないため転倒が起こ が飛ぶ。最後にこの授業についての魅力は、 を過ぎても他の学生たちからたくさんの質問での歩行や階段昇降に移り、授業の終了時刻 ことだ。 が困難なことによる信号での事故も多いとの い」。武藤教授によると、宮あと視野もかなり狭いし、 節が曲がらない 気ある男子学生。 での歩行や階段昇降に移り、 さて、 武藤教授によると、実際にもお年寄り 次に「高齢者セット」の実演は廊下 二人の発表が終わるといよいよ「高 の登場だ。 し、腕が上がらないのが辛い。 まず、装着した感想は、「関豆場だ。今回実演するのは勇 色の識別も難し 色の識別

活密着型というか、 この授業で取り上



という感じで自分の身体に関しての知識もつ身近な話題で親しみやすいですよ。浅く広く きます」とのこと。 しかし何より、 学生たち

の魅力のすべてを語っているような気がした。の輝いた目や学ぼうとする姿勢が、この授業 八木橋麻美)

### 工学部

# 線通信応用



大学院新領域創成科学研究科

課程の授業ですから、

文科系の人間が理解

森川博之助教授

(もりかわ・ひろゆき)

遠

の解説を聞ける、またとない機会だと言えるからの社会のあり方を規定する最先端の技術考えようとするものです。ある意味で、これを知り、それを社会にどう応用して行くかを 年の学生向けに開講している無線通信応用工った感があります。森川博之助教授が三、四 でしょう。今回、 学の授業は、 というシステム全般の恐ろしいほどの可能性 携帯電話はもはや私たちの生活必需品とな 携帯電話のみならず、 私が見学した授業は 無線通信

ることができるそうです。工学部の専門殻変動などもこのシステムを使って調べ すが、そのような移動体のみならず、 末の位置を精密に測るシステムのことで 衛星)から電波を送って地上の自分の端 (Global Positioning System)」です。GPS ナビゲー 身近な例としてはカー ナビゲー ションシステム(2)/GPS ションサテライ上(人工



森川先生の授業風景をビデオに収録

授業をインターネットで中継するシステム

 $(\,http://www.soi.wide.ad.jp/class/20000002/\,)^{\circ}$ きるとともに、インタラクティブに質問をす 者はリアルタイ 探ることを目指した実験であり、 隔地点にインター ネット配信を行っています 講ぶりが強く印象に残りました。 ることもできます。 ネルギッシュな語り口と学生たちの熱心な聴 ることもできます。 れているため、 インター ネットを用いた高等教育の在り方を ることはたやすくはありませんが、 先端的な試みの一つとして、この授業は、 後でダウンロー ムで授業を聴講することがで また、授業風景は録画さ 教室だけが授業の 実験の参 先生の

(大学院人文社会系研究科学生 ないのです。